

# 福徳新聞

（毎月十五日）一回  
定價 郵税五厘  
廣告料 報費五十銭  
發行所 福徳新聞社  
市 島 錦 波

## 平町電燈料値下問題 再燃す 果して眞乎

▲曩に無産政黨を背景として例る。の宇佐見友次郎氏が最も熱心に努力せし電燈値下問題も全く社會より忘れられたるの姿となりたるに、町會議員中自稱正義團と誇稱する一派が一段の憤起して来る廿五日前後に開會すべき町會に附議し不良分子に策動の余地を與へず以つて一擧に其の目的の貫徹を計らんと町當局者を鞭撻し乍ら材料の蒐集に努め居ると、右に付き正義團と稱するの一町會議員は語る。

「電燈料値下問題をこのまゝ放任する様なことになると、町會の威信にかゝりはり町民から一種異様の疑惑の目をもちて見らるゝ事になるから如何なる難問題が惹起しても解決しなければならぬ、殊に遅れば遅れる程策動家が現れ、吾人等の運動を種にせんとする様だから次回の町會には何とか運動方法の具体化に努むる」云々。

## 教化団体總動員 緊縮講演會

▲本縣に於ける公私經濟緊縮に關する計畫要綱に基き諸般の調練主義を遵守するの模範的社員なり記者とは日露の大戦に彼の滿州の天地に皇國の爲めに奮戦せし勇士なり。

## 伏見平町長 公私經濟緊縮委員に任命

▲本縣に於ける公私經濟緊縮に關する計畫要綱に基き諸般の調練主義を遵守するの模範的社員なり記者とは日露の大戦に彼の滿州の天地に皇國の爲めに奮戦せし勇士なり。

## 桃源の夢に眠る…… 上遠野・入遠野を訪るの記

▲警城名物ヂャンガラ念佛の鐘の音も何處へか消へて、頗る閑散の天地と變つた去りたる月廿四日、記者は大衆主幹長谷川紫水氏と同伴、那西の別荘を訪れんものと午前六時五十分發ち湯本驛へ、夫れより、名もなき雲助自動車にて標的の上遠野村に……

## 住友生命保險出張所 主任 福島寛利君

▲人は死すべきものなり、多幸なる現世より神の住む別天地に旅行せんとする時の準備用意なからず。準備とは何物であるか、夫れは生命保險に加入するの事と記者は斷定す。

## 藤市の 最近のユース

▲夏季中水販賣で頗る好評であつた平町二丁目藤市事遠藤市松氏は今般吉例により平名物として天下に賞讃と愛用を蒙りたる蒲鉾、サツマ揚、磯邊揚等の製造販賣を開始する事になつた。

## 四聞八觀 (一)

▲二百二十日も無難、是れで秋の農村も恵まれん。縣社子鐵倉神社臨時大祭も雨に悩みて天を恨むのみならず祭禮気分もなき氏子ありたるは矢張り敬神の念の薄きを物語るものならん。

▲同氏は同地の局長として公私共に至大なる貢献せしこと、同氏は徐に「本局も當地方民が一刻千秋の感をもて期待した、公衆電話も四十個大は架設せん」と豫想意見を發表せり。最も地元村民諸氏の熱誠なる應援と寄付を待つは當然の結果と信せらるゝも、成の由、頗る充實せる御高説を拜聴して記者は辭せり。

▲上遠野先生談に據れば、局取扱は昭和四年四月十二日指令を以て事務を開始せり。此の山村に是れ等文明の開發の早かりしは即ち上遠野氏の公的の熱誠と社會奉仕の熱心と、同氏の全人格を物語るに足ると記者は感銘せり。

▲最後に、縣道編入問題で村長の公職を捨て自治体の爲め奉仕して呉れた、前村長樋口善右衛門氏を訪問す。氏は總てに明るく、強き理解力の所有者にして、年來の功績は即ち同氏の全人格の反映であると思ふ。

▲御招待申す、なごう大に抱負を語りつゝありき。同氏は皆て郡會議員なりし事もあり實際に於て村の長老である、再度此の村の長老として御就任ある日も近きものならんと思ふ。

（八月廿七日記）

# 政府の緊縮政策の

## 意を体して其の實行を決議す

### 石城郡町村長會

石城郡町村長會は去る二日開催せるが、開會劈頭に於て小川村長國井義氏から提唱した實行豫算削減の反對の意見に賛成も多少あつて可なり賑やかな場面を演出したが、平、四倉、小名濱、豊間、湯本町等は縣補助を仰がねばならぬ各種事業を有するのて是れ等町村では縣から睨まれては結局仕事が出来なくなるといふ理由又削減を實行せねば縣吏員の出張と帳簿などの検査を受けること云々様々な事なるから現政府の金看板たる緊縮政策を体して大々節約削減し、將來伸びんとする爲めの實行豫算を作成する事に決定したとの由。

# レシーバー

▲官吏の境遇や何物に類似せるか一片の辭令により今日は東へ明日は北へ轉々する身の悲しさよ、前署長の猪狩君等も其一例に相等しきか、縣衛生課次席として轉勤の官命に接し多年或る〇〇に努力せし平の地に〇〇交〇好評聴聞を幾多残して盛大に任地へ上る途中更に大火で有名な宮城縣氣仙沼署長に再轉を見るの運命に翻弄され、何ぞ其の悲哀に同情を寄せんか。然し猪狩君は石城の天地に何物かの未練があるか亦た將來に〇〇の策動の〇〇であつたのか確開するに八月廿七日夜密かに來りて或る一方の巨頭や仙臺の〇〇公等と共に旅亭に會合し古馴染の玉川の鶴江等三四名を招じて大亂舞をして更〇〇〇なども計劃して行つたどか、赴任途中迂回して平町に泊然か其豪遊振りは恐

ヨリと澄まして居る、縣社の御利益もタントくですか。(不信仰の區民)  
▲初秋毎年の御見舞を受ける傳染病に各自大いに自愛せよ。(不潔居士)  
▲荒井署長殿に御願ひ申します南町の御取締を十分に。(風紀改善生)

▲最近水戸方面より幾多の新聞記者が御入來で、強きものは無遠慮に出放題を云つて居るよ、是等の對抗戦を研究するも一つの仕事だよ、大いに吾人は地元新聞諸君を援助する覚悟だ、諸君よ大いに自愛努力せよ。(熱血生)  
▲多年の天下の縁雨兄も警城公論を廢刊して、天下の公論の

▲世界的發明せる  
婦人美神丸  
其偉効は一驚の外なし  
地方代理店  
平町五丁目角

▲山野邊藥局  
平町五丁目角

▲縁雨と還元したとか、聊か寂寞感を感じるよ。(縁雨崇拝者)  
▲出世のね、百、千、萬の〇屋の若旦那ね、十分に愛して上げて下さい。ワタイは諦めます。(殘念な女)  
▲先日平町日刊各紙が、我が崇拜する〇〇先生を女學校長と青年團長として三段抜きの記事では私達は大いに憤慨した、何も事を以て萬事だなどご攻撃はして下さい。私達は先生の御事陶によつて今日を得たのです。(業した女)  
▲六日朝全く祭禮のみ與へられたい快晴折、消防組の團があつたまじき姿にて縣社へ賽銭箱の奉納式、何んと敬神の念を深からしめた(町民)  
▲御祭禮日だけ位は農村から糞尿汲車は御遠慮して欲しいよ、祭禮氣分を破壊するものだ(ボンクラ區長)

祝福總新聞創刊三週年

## 第三區校長會

平町田町(電話五一三番)

## 高久病院

醫學士 高久 忠  
新瀉醫學士 赤羽 清  
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

▲夏季中の氷水販賣は各位の御同情に依り豫期以上の盛況を御禮申上げます  
▲今般吉例により九月十四日より蒲鉾製造販賣を開始致しました  
▲一層の御引立と御聲援を御願申上ます  
水戸市昭和商工博覽會出品

一、蒲鉾 一等賞金牌  
一、鱧 節 二等賞銀牌  
一、サツマ 揚 三等賞銅牌  
領受  
平町二丁目(電話三〇五番)

## 藤市蒲鉾店

遠藤市松

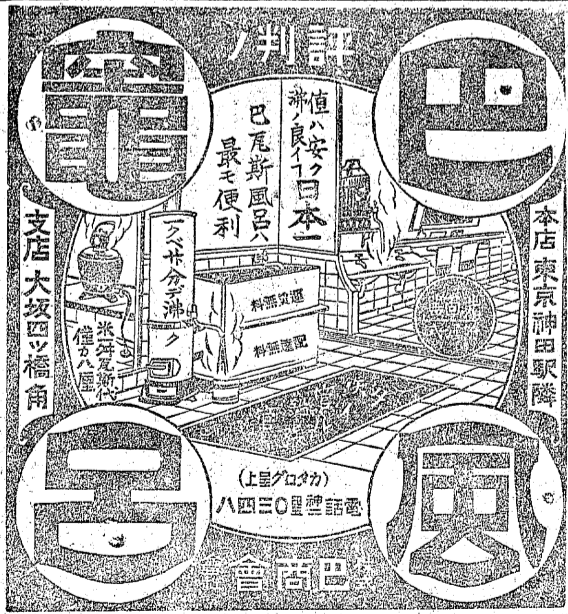
## 矢吹醫院

平町研町(電話二六六番)

内科、小兒科  
花柳病科 小兒科  
藤沼醫院 (入院應需)  
平町紺屋町  
電話平園五〇七番

## 磐城共濟病院案内

内科 小兒科 (院長毎日診療)  
院長 醫學博士 難波 林  
内科部長 醫學博士 中西 憲  
外科部長 醫學博士 桂 重  
外科内臓外科、整形外科、皮膚泌尿科専門  
毎日曬手術 醫學博士 桂 重  
産婦人科 女子泌尿科  
部長 醫學博士 松 枝  
耳鼻咽喉科専門  
部長 醫學士 井上 俊次  
毎日曬手術 醫學士 渡部 貞助  
X光線科 物理學的診療科  
主任 醫學博士 難波 波  
衛生試驗所 主任 師 藤 慶  
衛生試驗所 技師 小中 英  
藥局 藥局長 吉本 孝  
本院醫事法制度記法學士 岡 澤  
本院主事 賀 治  
衛生試驗所、病氣相談所、治療所、共濟病院内  
救療を申込る、方は當相談所へ御話し下さい  
平南町 磐城共濟病院  
電話六四一番  
入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集



本店東京神田區  
植八安日本  
新瓦新風呂  
最新便利  
支店大坂四ツ橋南  
特約店 店商屋釜

印刷物... 加納活版所